

まちづくり地区懇談会（上古田区）会議録

地区名：上古田区

日時：平成28年10月11日（土）19：00～20：40

会場：上古田公民館

町参加者：町長・副町長・深澤課長・三井室長・鈴木係長・前島係長（地域支援
スタッフ）・竹腰

参加人数：19人（男性17人・女性2人）※町参加者を除く

報道機関：—

主な発言：※要約・箇条書きにて記録

【質疑・懇談】

懇談テーマ

『区の将来像の実現に向けて～自然・景観・歴史文化・安全安心・人のつながり～』

参加者）グリーンベルトの設置は良いが、付近の水路（西小学校～西の集会所）に甲蓋の設置をお願いしたい。

町）すぐにというわけにはいかないが、検討する。

参加者）西県道、車の速度が速い。警察にも相談はしているが、町でも対策を。

町）歩道・信号機の設置は難しい。課題として認識している。

参加者）婚活サポートについて、豊島区・庄内との交流の中でカップルは生まれていない。何か良い案を。

町）うまくカップルが成立すればよいが、めぐり合わせもある。
ハッピーサポートみのわは、女性の登録数が少ない現状。
上伊那や県で行っている制度も活用していく。

参加者）上古田から下っていくと、農道・春日街道など草で見通しが悪い箇所がある。中学生の通学路でもあるので、何か対策をとってほしい。
個人の土地で勝手に刈るわけにもいかない。

参加者) 若者の意見が、区や町に伝わっていないように感じる。未来委員会の
ようなものを区や西部地区という区切りで立ち上げてはいかがか。

町) 若者の意見を集めるのは難しい。面白い案だと思うので検討したい。

参加者) すぐにではなくても、通学区見直しの検討を。

町) 小学校は当面5校体制で考えている。長いスパンで議論が必要。

参加者) 駅伝大会、町内一周になって良かった。
表彰をもう少し下の順位までしてもらえるとモチベーションが上がる。

町) 検討したい。

参加者) 10年程前にはなるが、農地転用の手続き等で家を建てるのに5年も
かかった。もう少し家を建てやすくすると人口増にも繋がるのではな
いか。

町) 法律に基づいて行っている。箕輪だけ特別時間がかかるということ
はない。

参加者) 町営住宅の土手の草刈りを。

参加者) (町営住宅入居者の方)
雨の影響で業者の手が回っていない状況。春は入居者で草刈りを
行っている。

参加者) 町営住宅の改修予定は。それなりの設備になれば、入居希望者が
増え区の人口増にも繋がる。また、町営住宅を退去後も、区内に住み
続ける人もいると思う。

町) 上古田については、今年度、耐震診断を行う。

参加者) 駅伝について、一周になったことは良かったが、町の補助は
少ない。区、公民館への補助を増やしてほしい。
また、保育料について、他市町村は安い。予算に限りはあるが、
何かダイナミックな施策を。

参加者) 企業の社会貢献活動が少なく感じる。町で働きかけを。

町) 社会貢献しようとしている企業もある。特にセーフコミュニティの取り組みなどは企業の協力が不可欠だと思う。

参加者) ふれあいサロンでの昼食提供などを。

参加者) 町営住宅について、例えば鉄筋3階建てにするなど検討できないか。

町) 新築で大きなものとするれば、家賃が現在の数倍になってしまう。
上古田については、今後の見解はまだ出ていない状況。

参加者) 区費、町内である程度統一した方が良い。

区長) 町では、動いてはいる。ただ、それぞれの区の事情もあるので公表していない。

町) 移住・定住に関連して、区や常会費の問題も出てくる。
町だけでなく、区も一緒に議論をお願いしたい。

参加者) 赤そばの状況について

9/17に赤そばの里オープンしたが、雨の日が多く、お客さんは少なかった。会発足から11年となるが、今年は特に苦しい年となってしまった。

【まとめ】

町長) 上古田地区を元気にしたいという提案をいただいた。

できるだけ実現できるようにしていきたい。

人口減少の問題等あるが、みのわの魅力発信室で移住・定住の施策を始めた。スタートしたばかりだが、今後、必ず成果が出る。

赤そば、花ももなど上古田には地域で活動をしてもらっているが、今後もよろしくお願いします。